

《古典伝統芸能と出会うひととき》2013年度 師走特別公演

古典の心柱◎大和座狂言ガラ公演

十二月七日(土)

十三時 開場
十四時 開演

会場 大阪能楽会館



● 2013年へ献ずるプレリノード「声と音」

● 狂言『膏薬煉』 ● 狂言『千鳥』

● コラボレーション『与謝蕪村の句による五つの冬の歌』

書:恒松一恵 画:西口司郎 デザイン:田中庸也

Kyogen YAMATOZA

大和座狂言事務所

古典の心柱◎大和座狂言ガラ公演

平成二十五年十二月七日(土) 十四時開演(十三時開場)
会場 大阪能楽会館

○2013年へ献ずるプレリユード〜声と音

三上 賢治 万物に宿る神に捧げるデイジュリドゥ
等々力政彦 モンゴルの大草原に響くフーメイとイギル
安東 伸元 八百万の神を寿ぐ祝詞

○狂言『膏薬煉』(こうやくねり)

都方 安東 星郎
鎌倉方 安東 睦郎
後見 許 秀鳳

「膏薬煉(こうやくねり)」
狂言はセリフ劇です。狂言には、日本語という言語が持っている心地よいリズム、力強いテンポ、美しい響きが凝縮されています。都(京都)と東国(鎌倉)の膏薬煉りが、互いの薬力を競わんと旅に出、途中でばつたりと出会う。互いに上るにも下るにも及ばぬから此処で吸わせ比べようということになる。荒唐無稽な自慢話を聞かせ、滑稽珍妙な薬種を明かし合い、いよいよ勝負になる。「捻(ねじ)引き」「しゃくり引き」などの攻防が舞白杯に繰り広げられる。この狂言は、日本語による語りもの原点です。

○コラボレーション『与謝蕪村の句による五つの冬の歌』中村 典子(作曲)

ソプラノ 日下部 祐子
能舞 安東 伸元

○狂言『千鳥』(ちどり)

主人 木田 喜方
太郎冠者 安東 元
酒店主人 安東 伸元
後見 比嘉 峯宰

「千鳥(ちどり)」
付けの溜まった酒屋へ行き、何とかしてまた二本手に入れて来いと、主人が太郎冠者に命じる。そこで、度々の事ゆえ万事を心得た太郎冠者の機転と知恵が光る。話好きな酒屋の亭主を丸め込んで酒樽を持ち去ろうとする太郎冠者。そうはさせまいとする亭主との駆け引きの攻防が見処。子供が浜辺で千鳥を捕る様子を話そうと言い、これに失敗すると、今度は祭りの様子を見せながら取ろうとするが、これも亭主に気付かれて失敗。最後は見事亭主を騙して持ち走るが、はて太郎冠者はどのような工夫を働かせたのか……。

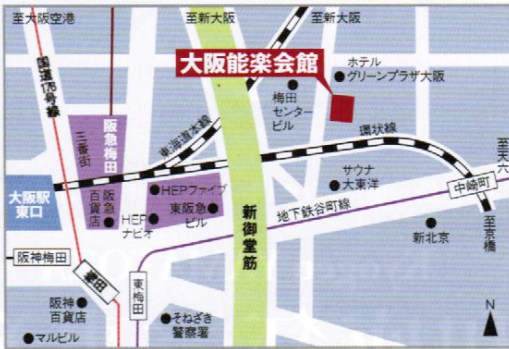
総合進行・司会／山田 師久



等々力 政彦 三上 賢治 日下部 祐子 安東 睦郎 安東 星郎 安東 元 木田 喜方 安東 伸元



大阪能楽会館



○JR「大阪」駅より徒歩10分 ○阪急「梅田」駅より徒歩7分 ○地下鉄谷町線「中崎町」駅(4番出口)より徒歩5分
○新大阪駅より車で6分 ○伊丹空港より車で30分

会場 大阪能楽会館
〒530-0015 大阪市北区中崎西2丁目3番17号
入場料 一般/3,000円(当日:3,500円)
学生/1,000円(中・高・大学生)

チケット・お問い合わせは
大和座狂言事務所
tel.06-6384-5016
fax.06-6384-0870

大阪能楽会館
tel.06-6373-1726